

2022 ミドルレベル FD 研修

リハビリテーション学部 FD・SD 研修実施報告書

群馬医療福祉大学 FD・SD委員会

悴田 敦子

- 〈研修実施日時〉 令和4(2022)年 9月 22日(木) 16:00~17:30
〈会場〉 群馬医療福祉大学本町キャンパス (Zoom およびオンデマンド)
〈参加者〉
・常勤教員 15名(全15名中) 出席率100%
・常勤職員 6名(全6名中) 出席率100%
・非常勤講師 1名

(1) 概要

近年様々な分野でデジタルファブリケーションが行われるようになった。3Dプリンターを使用した芸術作品の作成だけでなく、医療分野でも行われるようになってきている。そこで、3Dプリンターを使用し制作経験のある藤本先生を講師に迎え、3Dプリンターの基本知識や医療におけるものづくりの例をご講義いただいた。義肢や自助具などリハビリテーションにも活用できる内容について、メリットデメリットを含めご教授いただいた。

(2) 内容・所感

「デジタルファブリケーションの基本とリハビリとの関係」

講師：群馬医療福祉大学医療技術学部 藤本 孝先生



3Dプリンターの構造やデジタルファブリケーションの仕組みについて、資料をもとにご講義いただいた。実際に作成している動画も放映していただき、理解しやすい内容であった。リハビリテーションに関係するところでは、義足や義手などの義肢、対象者の機能や体に合わせた自助具など福祉用具に導入されていることは学会等で知られていた。その作成の実際を学ぶことができ、今後対象者の支援の際、また研究等に活用することができると思われる。